

一般質問…ここが論点

9月定例会

9月市議会定例会中、6日、7日、8日の3日間で、市政全般について18人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、9月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。発行・掲載はいずれも12月上旬の予定です。

また、インターネット録画中継も実施していますのでご覧ください。

新実祥悟(市民の会)

生命の海科学館の現状について

問 事業見直し後の平成22年度、年間利用者数は。

答 展示入館者数2万3031人、25%増、企画展2980人、16%減、ワークショップ等7640人等々で、計3万7415人で64%増となっている。

問 企画展が若干減少しているが、今後、どのように考えているか。

答 今反原発が騒がれているが、渥美沖でメタン



生命の海科学館

ハイドレードを掘削して実証実験をしていくというようなことも伝わってきており、これらを絡めた企画もどうかと考えている。

競艇事業の交納付金の減額について

問 船舶振興会等への交納付金の減額の考えは。

答 蒲郡市単独で、6月30日に、民主党愛知県連に公営競技納付金制度廃止の要望を提出している。

大竹利信(公明党)

市税等の収納率向上に向けての取り組みについて

問 納税者の負担が軽減できるよう、はがきで簡単にできる口座振替の推進をどう考えているか。

答 現在の手続きは、一番確実な方法と考えているが、手続きが面倒という側面もあり、はがき形式の口座振替依頼書を納税通知書に同封する方法については検討を行っている。できれば来年度にも実施できれば

と考えている。

子宮頸がん等ワクチンの接種について

問 来年度以降の事業継続と全額公費助成は。

答 現段階で軽々には言えないが、市民に平等に接種できる機会を提供するためにも、公費助成を継続していかざるを得ないので、はと憂慮している。国の方針がわかった段階で、他市の状況も踏まえて実施について検討したい。

松本昌成(公明党)

子育て支援、ほほえみプラン21後期計画について

問 今後の課題を踏まえて後期計画が策定されたが、進捗状況はどうか。

答 低年齢児保育は、現在10園で319人を受け入れ、平成24年当初には、市内12園の定員数で目標事業量の391人を超える見込みである。また、ファミリーサポートセンター事業については、問題も山積し



ている中だが、できるだけ早い時期に開設し、皆様のご期待にこたえられるよう準備を進めたい。

学校図書館の充実について

問 学校図書館の人的配置についての考えは。

答 学校の図書館の充実には冷房を入れたり、いろいろとやってきたが、充実した図書館にするには、司書、支援員の配置が必要である。今後、全校配置できればと考えている。

鈴木基夫(市民の会)